

2027 年度

学校推薦型選抜（公募制）要項

学芸学部 英語英文学科



津田塾大学

TSUDA UNIVERSITY

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

津田塾大学が求める学生および津田塾大学の理念

津田塾大学は、深い知性と豊かな人間性を兼ね備え、自立して社会に貢献できる「オールラウンドな女性」の育成を目指しています。創立以来、幅広く確かな教養に裏打ちされた知見と実践力をもって、リーダーシップを発揮できる女性を輩出してきました。本学では、このような建学の理念に共感し、世界のさまざまな問題に関心を持ち、主体的に学ぼうとするバイタリティ溢れる学生を求めています。

学芸学部

学芸学部が求めているのは、さまざまな問題に取り組むために必要な知識と思考力を持ち、自分の考えを自分の言葉で的確に表現できる創造性に富む学生です。

学芸学部では、人間としてより自由に生きるための学問、学生一人ひとりの個性と自主性の尊重をその教育理念の根幹に据えています。男女共同参画が求められる時代において、多様でグローバルな課題に対してイニシアティブを発揮しつつ、地域社会と国際社会の双方で貢献できる女性を求めます。

英語英文学科

英語英文学科では、高度な英語力を修得し、幅広い学識と専門性をもって地域社会と国際社会に貢献できる人材の育成を目指しています。世界の多様な諸相を「英語で学ぶ」ことを基盤に、総合的な英語の運用能力の向上を目的とした英語教育ならびに専門領域におけるテキスト分析や論理的思考、表現力の鍛錬を通して、深い専門性、思考力、教養を培います。言葉の力に優れ、広い視野に立った世界への関心と、社会に貢献する意欲をもつ学生を求めています。

<知識・理解>

広く世界の様相を理解していくために日英語のテキストを広く深く読む力とともに、主として英語圏の言語・文化・社会などについて総合的に探求するために、地理、歴史や現代社会に関する幅広い知識が必要です。とりわけ「世界史」と「日本史」の学習は重要です。さらに、論理的な考察力を培うために、「数学」などの基礎的知識ならびに理解力を身につけていることが望まれます。

<技能・表現>

英語英文学科におけるリベラル・アーツ教育の基本となるのは、日本語でも英語でも自分の考えを論理的に構築し、それを的確に表現する力です。文章を読み解き、自分の考えを的確に表すことができるための「国語」の力は必須です。加えて、読む、書く、話す、聞く力や、語彙力、文法力など、総合的な英語能力が重視されます。

<関心・意欲・態度>

多様な言語や文化の問題に関心を深め、異なる価値観を理解し受容する柔軟な態度と、読書などを通して幅広い教養とともに専門知識を積極的に追求し、学ぼうとする意欲が期待されます。また、授業に向けて主体的に取り組み、自らリサーチし、発表や議論に積極的に参加する姿勢が求められます。

<思考・判断>

世界の多様な様相を理解し、言語・文化・社会などにおけるさまざまな問題を見出し、それに関して集めた情報を整理して、自分の考えを導き出す思考力が求められます。さらに、目的や状況等に応じて互いの考えを伝えあい、多様な考えを理解し、他者との関わりの中で主体的に判断することが期待されます。

学校推薦型選抜（公募制）について

—広く世界を捉える視野、学び創造する意欲、豊かに表現する力—

これからの国際社会では、多様な言語や文化を背景に持つ人びとと、英語を用いて広くコミュニケーションを図っていく力が必須です。興味関心のある分野について深くまた多角的に学び、新しいビジョンを持って、未知の世界を切り拓く意欲あふれる人材が求められています。

学芸学部英語英文学科では、言語や文化を総合的な視点で捉え、英語を通じて異なる文化を探究し、人間の営みやあり方について深く思考し、洞察する力を培います。また、多彩なカリキュラムによって、高度な英語力を基盤とした専門的学識と広い視野をかね備えた、地域社会及び国際社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

学校推薦型選抜（公募制）では、書類選考（第1次選考：志望理由書、英語の能力を証明する書類等）、英語学習能力考査・面接（第2次選考）をとおして、さまざまな角度から、受験者の力をみていきます。

英語英文学科では、とりわけ、言葉の力に優れ、社会に貢献する意欲と広い視野をもった学生を求めています。学校推薦型選抜（公募制）制度を活用して、英語の教育環境を重視した本学科の特色や特長をよく理解し、自律的に学ぶ意思を持った学生の入学を期待しています。

入試日程

出願期間	2026年11月1日(日)～11月10日(火) (消印有効)	入学検定料を振り込み、出願書類を郵送してください。 提出書類による選考を行います。
第1次選考(書類選考) 結果発表	2026年11月20日(金)	郵送で通知します。
第2次選考 試験日	2026年11月28日(土)	試験会場は本学(小平キャンパス)です。
合格発表日	2026年12月5日(土)	郵送(速達)で通知します。 合格者には入学手続書類を同封します。
入学手続締切日	2026年12月18日(金) (消印有効)	締切日までに入学申込金(入学金相当額)、学費その他の納入金を納入し、入学手続書類を提出してください。

英語英文学科 学校推薦型選抜（公募制）について

高等学校長の推薦を受けた現役生、既卒生を対象とし、書類および英語学習能力考査、面接で選考します。

募集人員

10 名

出願資格

次の条件 1 及び 2 に該当する女子

1. 津田塾大学学芸学部英語英文学科への進学を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者（入学後に同学部他学科への転科ならびに他学部他学科への転部転科は認められません）
2. 次の①、②のいずれかに該当する者
 - ①高等学校または中等教育学校を卒業した者及び 2027 年 3 月卒業見込みの者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

【第 1 次選考（書類選考）】

出願期間

2026 年 11 月 1 日(日)～11 月 10 日(火)（消印有効）

*ただし、日本国外から出願される場合や、高等学校または外部機関から本学に直送される書類については締切日必着とします。

受験上特別な配慮が必要な場合について

受験に際し、病気・負傷や障害等のために、配慮を希望する場合は、出願期間の前にならできるだけ早く本学入試課に連絡してください。（ご希望の全てに対応できるとは限りませんので、ご了承ください。）

出願方法

出願書類の本学所定用紙を本学公式 Web サイト（<https://www.tsuda.ac.jp/>）からダウンロードし、すべて A4 サイズで片面印刷してください。

ダウンロードができない場合は、本学入試課(Tel. 042-342-5120)に連絡してください。

【出願用封筒表紙】を A4 用紙にカラー印刷したものを市販の角形 2 号封筒に貼付のうえ、出願書類をすべて入れ、「簡易書留・速達」で郵送してください。出願書類以外のものは、同封しないでください。提出は郵送に限ります。大学窓口での受付は行いません。

出願書類

- ・ 出願書類は黒のボールペンで記入してください。消せるボールペンは使用しないでください。
- ・ 出願書類はすべて紙媒体で発行された原本を提出してください。（英語の能力を証明する書類については、pp. 5-6「※⑤英語の能力を証明する書類について」を参照。）原本と指定されている出願書類を写しで提出することを希望する場合には、出願前に本学にて原本証明を受ける必要があります。原本証明を希望する場合は、本学入試課にお問い合わせください。
- ・ 出願書類のうち日本語、英語以外の言語で記載されたものは公的機関（高等学校、大使館等）の証明を受けた日本語訳または英語訳を添付してください。日本語学校による翻訳の証明は認めません。
- ・ 一度提出された書類は返却しません。

①志願票【様式 1】	<ul style="list-style-type: none"> ・縦4cm×横3cmの写真（無帽・上半身・正面、試験日前3ヶ月以内に撮影したもの。加工を施した写真やスナップ写真は不可。写真の裏面に氏名を記入）を所定の欄に貼付してください。 ・志願票に記入された住所に、受験票や可否結果等の書類を送付しますので、正確に記入してください。（国内の住所に限ります。） ・銀行の収納印が押されていることを確認してください。 ・志願票に記入するE-mailアドレスのメール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあるため、@tsuda.ac.jp、@gm.tsuda.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
②推薦書【様式 2】	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校長からの推薦書 1 通を提出してください。 ・本学所定用紙または別用紙でも可
③調査書	<ul style="list-style-type: none"> ・厳封されたものを提出してください。 ・卒業後の年数経過等により調査書が発行されない場合は成績証明書及び卒業証明書を提出してください。
④志望理由書【様式 3】	<p>本学学芸学部英語英文学科志望動機について、自己活動歴も含めて 1200 字以内で書いてください。</p> <p>*自己活動歴の例 ①生徒会・クラブ活動・地域活動・ボランティア活動等、②学芸、スピーチ等の大会・コンテスト等、③特に力を入れて取り組んだ学業等、④その他の分野でユニークな実績をあげたことなど。</p> <p>*できる限り活動の実績を客観的に証明できる資料を添付すること。添付する資料は必ず紙媒体（印刷物や PC（パーソナルコンピュータ）からプリントアウトしたもの等）で提出し、できるだけ A4 サイズにそろえること。VTR、CD-ROM、USB メモリー、DVD 等の磁気・電子媒体による提出は認めません。賞状などのコピー添付可。</p> <p>※手書き、PC（パーソナルコンピュータ）等使用のいずれでも可。 PC 等を使用する場合、文字の大きさを 10～12 ポイントとして、A4 用紙 1 枚に出力してください。</p>
⑤英語の能力を証明する書類	以下の表「※⑤英語の能力を証明する書類について」を参照し、いずれか 1 つ以上を提出してください。
⑥出願書類チェックリスト【様式 4】	提出する書類等の提出チェック欄に○印をつけて提出してください。

※⑤英語の能力を証明する書類について

以下の表を確認のうえ、所定の書類を提出してください。

なお、実用英語技能検定（英検）以外の試験においては、2024 年 4 月 1 日以降に受験したもののみ有効です。実施機関から本学に直送する場合は、十分に余裕をもって手続をしてください。

英語の能力を証明する書類は、原本または原本の正しい複製であることが出身学校によって証明されたものをご提出ください。本学による原本証明を希望する場合は、本学入試課にお問い合わせください。志願者本人による証明書等のコピーの提出は認められません。

※「原本から正しく複製されたものであることが出身学校によって証明されたもの」を作成する際は出身学校の教員が証明書の原本であることを確認してコピーを取り、そのコピーの余白に「原本と相違ないことを証明する」旨の文言を記載したうえで、出身学校の印、または学校長の印を押印してください。

試験名称	提出書類と提出方法
TOEFL iBT (*1)	<p>以下のいずれかの方法で成績証明書を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書をテスト機関から直接本学入試課に送付（TOEFL の大学コード 0371） ・成績証明書を出願書類に同封
TOEIC (L&R および S&W) (*2)	公式認定証を出願書類に同封してください。

IELTS (*3)	以下のいずれかの方法で成績証明書を提出してください。 ・成績証明書をテスト機関から直接本学入試課に送付 ・成績証明書を出願書類に同封
GTEC (*4)	成績証明書を出願書類に同封してください。
TEAP (4 技能)	成績証明書を出願書類に同封してください。
実用英語技能検定 (英検) (*5)	合格証明書、合格証書、CSE スコア証明書、個人成績表(*6)のいずれか (4 技能の CSE スコアが表示されたもの) を出願書類に同封してください。

- (*1) TOEFL iBT は Test Date スコアのみを活用します。MyBest スコアは活用しません。TOEFL iBT Home Edition を含みます。
- (*2) TOEIC については、「TOEIC Listening & Reading Test」および「TOEIC Speaking & Writing Tests」両テストのスコア (4 技能) を必須とします。TOEIC IP は利用不可。
- (*3) Academic Module に限ります。コンピューター版を含みます。
- (*4) CBT タイプおよび検定版に限ります。
- (*5) CBT、S-CBT、S-Interview を含みます。
- (*6) 個人成績表の「原本」または「原本から正しく複製されたものであることが出身学校によって証明されたもの」ではなく、「受験者マイページ」から確認できる個人成績表をプリントアウトしたものを提出する場合は、必ず原本を正しくプリントアウトしたことが出身学校によって原本証明されたものを提出してください。

入学検定料

35,000 円

振込用紙 (本学志願票用紙【様式 1】) に必要事項を記入し、銀行窓口より「電信扱」で振り込んでください。

※ATM、ネットバンキングおよびゆうちょ銀行からの振込は不可。

※出願期間の前に入学検定料の振り込みを行っていただいても構いません。

いったん納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、以下の「入学検定料返還について」に該当する場合を除きます。

入学検定料返還について

以下の 1. 入学検定料返還請求事由のいずれかに該当し、かつ 2. 手続方法により請求し、受理された場合のみ入学検定料を返還します。

1. 入学検定料返還請求事由

- (1) 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった。
- (2) 入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった。

2. 手続方法

返還を希望する場合は、本学入試課 (Tel. 042-342-5120) に連絡してください。入学検定料返還申請書を送付しますので、以下の書類を2026年11月20日(金) (郵送必着) までに本学入試課宛に簡易書留で送付してください。

- (1) 入学検定料返還申請書 (所定用紙に必要事項を記入)
- (2) 入学検定料振込領収書のコピー

3. 返還時期

2026年12月末 (予定)

被災した志願者に対する入学検定料免除について

津田塾大学では、被災地の志願者に対して進学のお機会をできる限り保障するため、被災の状況により入学検定料の免除措置をとることがあります。

入学検定料の免除措置を決定した場合には、本学公式Webサイト(<https://www.tsuda.ac.jp/>)を通じてお知らせしますので、確認してください。

選考方法

提出された書類をもとに、審査を行います。

第1次選考結果発表

2026年11月20日(金)

選考結果は郵送で通知します。合格者には、受験票を同封します。

【第2次選考】 第1次選考合格者に対して第2次選考を行います。

試験日

2026年11月28日(土)

試験会場

本学(小平キャンパス)

1. 試験会場案内図を当日正門脇の守衛所で受取ってください。
2. 試験日以前に試験会場の下見をすることはできません。ただし、建物内を除く敷地内の見学は可能です。

選考方法

提出書類、英語学習能力考査(論述)及び面接(英語による質疑応答を含む)により総合判定を行います。

第2次選考時間割・内容

10:00~11:30 (90分)	13:00~
英語学習能力考査(論述)	面接(英語による質疑応答を含む)

英語学習能力考査: 英語の長文を読み、内容に関する複数の設問に日本語と英語で答える論述式の試験です。辞書は当日大学が貸与するもののみ使用可。

受験上の注意事項

1. 受験票は試験中必ず携帯し、試験室では常に机の右上に置いてください。
2. 受験者は試験当日9時40分までに所定の試験室に入室、着席してください。受験者の入室開始時刻は9時です。
3. 遅刻が30分を超えた場合には受験できません。
4. 受験票を紛失した場合は、試験当日「身分証明書(生徒証、学生証、マイナンバーカード等)」を持参して、試験本部に申し出てください。
5. 試験室内では、持ち物は下記の「試験時間中に使用できる物品」を除き、すべて指定された場所に置いてください。また、携帯電話等は電源を切り、カバンの中に入れてください。携帯電話を時計として使用することはできません。(試験室内に時計はありませんので、必要な方は腕時計を持参してください。)
6. 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
7. 昼食が必要な場合は、各自持参してください。(食堂の営業はありません。)

8. 試験開始から試験終了までは退室を認めません。試験時間中の発病またはトイレ等、やむを得ない場合は、監督者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも、試験時間の延長は認められません。
9. 受験者本人以外は大学構内に入ることはできませんので、あらかじめご了承ください。付添者用の控室は用意しておらず、構内への立ち入りもご遠慮いただいております。また、会場への車の乗り入れはできません。周辺道路の混雑や交通の妨げとなりますので、お車での送迎もお控えください。
10. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対策に関する注意事項は、状況に応じて本学公式 Web サイトにてお知らせします。 <https://www.tsuda.ac.jp/>

<筆記試験時間中に使用できる物品>

以下は「筆記試験時間中に使用できる物品」です。机上に置いてかまいません。なお、筆記用具、時計等の貸出しは行いません。

物品	備考
鉛筆・シャープペンシル	HBまたはB。一般の商品名以外の英単語、漢字などが印刷されているものは認めません。
消しゴム	
時計	計算機・辞書・端末機能を備えた時計の使用は禁止します。また、それらの機能の有無が判別しづらいものも使用できません。試験室内に時計はありませんので、必要な人は腕時計を持参してください。
ハンカチ	文字や地図等がプリントされているものは認めません。
目薬	
ティッシュペーパー	袋または箱から取り出したもの
マスク	文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。写真照合の際は一旦マスクを外していただく場合があります。
眼鏡	

<試験時間中に使用できない物品>

上記の「試験時間中に使用できる物品」以外は使用できません。使用した場合や机上に置いている場合は、不正行為とみなされる場合があります。以下は「試験時間中に使用できない物品」の例です。

携帯電話・スマートフォン・タブレットなどの端末機能のある機器（時計として使用することはできません。電源を切り、カバンの中にしまってください。）、鉛筆削り、定規、コンパス、下敷き、色鉛筆、電卓等

試験実施に際しての対応について

入学試験の実施に際し、以下のような対応をとる場合がありますので、予めご了承ください。

1. 受験環境について

できる限り、公平で静ひつな受験環境の確保に努めますが、やむを得ず、以下のような対応をとることがあります。

- ①生活騒音（日常生活において通常起こりうる騒音等）に対して、特別な対応はしません。

《生活騒音の例》

- ・風音、雨音、雷鳴
- ・航空機、自動車、バイク、鉄道の騒音
- ・通過する緊急車両のサイレン
- ・工事の音
- ・廃品回収や物売りの類、およびイベント・選挙等のアナウンス
- ・動物の鳴き声
- ・空調や照明等、試験会場となる施設が通常発する音
- ・他の受験者の発する音（咳、くしゃみ、ためいき、^{はな}涙をすする音、筆記具を使用する際の音等）

- ②試験中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のカバンなどが特定できた場合、持ち主の同意なく試験監督者が試験室外に持ち出し、入試本部で保管することがあります。
 - ③試験室の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備等）の違いなどは、合否判定の際、一切考慮いたしません。
 - ④試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音等に対する申し出には応じられません。
 - ⑤隣席の受験者がトイレに行く場合や、体調不良による入退室等、試験実施上やむを得ないと判断した場合には、試験監督者の指示により、席を立っていただくことがあります。またその場合でも、試験時間の延長はいたしません。
 - ⑥他の受験者に迷惑と判断される行為がある場合は、不正行為とみなすことや別室受験を指示するなどの措置を講じることがあります。
2. 不可抗力による事故等について
大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害または火災、停電、新型インフルエンザを含む感染症、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります）、試験の延期等の措置をとることがあります。ただし、それによって生じた受験者負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
3. 受験者への連絡について
上記2. の措置をとる場合の受験者への連絡は、基本的に本学公式Webサイト上で行います。
<https://www.tsuda.ac.jp/>
4. 感染症について
試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や試験監督者等への感染の恐れがありますので、受験をお断りすることがあります。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をお断りした場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還はいたしません。
5. その他の注意
不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期等の対応措置をとることがあります。ただし、このことに伴う受験者の個人的損害については、原則として本学は責任を負いません。

不正行為について

受験の際には、すべて監督者等の指示に従ってください。以下に該当する場合、不正行為とみなされます。

- 1) 出願の際に本学に提出した書類・資料等に偽造、虚偽の記載、剽窃が見つかった場合
- 2) 受験者以外の者が、受験者本人になりすまして試験を受けた場合

また、以下の行為をすると、不正行為とみなされる場合があります。

- ・カンニング（カンニングペーパーや参考書、他の受験者の答案を見ること、他の受験者から答えを教えること等）
- ・使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。
- ・試験開始の合図の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
- ・試験終了の合図の後に筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けること。
- ・試験時間中に、他の受験者に答えを教えるなど、他の受験者を利するような行為をすること。
- ・試験時間中に、他の受験者に迷惑となる行為をすること。
- ・試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、タブレット、携帯音楽プレーヤー、ウェアラブル端末（腕時計型等）を身につけたり、作動させたりすること。
- ・その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

試験実施中に不正行為と思われる行為が認められた場合、監督者等が注意し、試験の中止や退室を指示することがあります。不正行為の疑いに対処した時間があっても、その受験者は、試験時間の延長を求めることはできません。

不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできなくなり、当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、入学検定料は返還しません。

不正行為の状況により、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

合格発表

2026年12月5日(土)

合格結果は郵送(速達)で学校長及び本人に通知します。合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。合格発表日当日に届くように発送しますが、到着が翌日になる場合もあります。なお、合格に関する問い合わせには一切応じません。

入学手続

2026年12月18日(金)(消印有効)

上記期日までに「入学申込金(入学金相当額)」及び「学費その他の納入金」を振り込み、入学手続書類を郵送してください。

入学手続締切日後の手続は、一切認められませんので、注意してください。

入学前教育について

合格者には入学前課題等を用意しています。詳細は、合格者にご案内いたします。

学費・その他の納入金(予定)

2027年度入学者の入学金・学費(授業料・施設設備費)・その他の納入金は10月初旬に決定します。

〔学芸学部〕

(単位:円)

学 科	入学手続時納入		10月中納入	初年度合計
英語英文学科 国際関係学科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 412,500	後期 412,500	825,000
	施 設 設 備 費	前期 137,500	後期 137,500	275,000
	計	750,000	550,000	1,300,000
多文化・国際協力学科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 440,000	後期 440,000	880,000
	施 設 設 備 費	前期 154,000	後期 154,000	308,000
	計	794,000	594,000	1,388,000
数 学 科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 486,000	後期 486,000	972,000
	施 設 設 備 費	前期 164,000	後期 164,000	328,000
	計	850,000	650,000	1,500,000
情 報 科 学 科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 490,000	後期 490,000	980,000
	施 設 設 備 費	前期 165,500	後期 165,500	331,000
	計	855,500	655,500	1,511,000

*次年度以降の学費(授業料・施設設備費)については次のとおりです。

授業料は次年度から毎年度10,000円増の漸増方式を適用します。

英語英文学科、国際関係学科	2028年度	835,000円	2029年度	845,000円	2030年度	855,000円
多文化・国際協力学科	2028年度	890,000円	2029年度	900,000円	2030年度	910,000円
数学科	2028年度	982,000円	2029年度	992,000円	2030年度	1,002,000円
情報科学科	2028年度	990,000円	2029年度	1,000,000円	2030年度	1,010,000円

施設設備費は次年度から毎年度 3,000 円増の漸増方式を適用します。

英語英文学科、国際関係学科	2028年度	278,000円	2029年度	281,000円	2030年度	284,000円
多文化・国際協力量科	2028年度	311,000円	2029年度	314,000円	2030年度	317,000円
数学科	2028年度	331,000円	2029年度	334,000円	2030年度	337,000円
情報科学科	2028年度	334,000円	2029年度	337,000円	2030年度	340,000円

*原則として、入学時に学修のためのノートパソコンが必要となります。指定された要件を満たすノートパソコンを各自でご用意ください。詳細は、合格者へお送りする入学手続要項でお知らせします。

その他の納入金について

①学生教育研究災害傷害保険

「学生教育研究災害傷害保険」（賠償責任保険付）は初年度のみ納入し、保険料は4年間を通じて4,010円です。校内や通学、また課外活動中の怪我、教育実習、正課のインターンシップやフィールドワーク中の賠償責任を補償範囲としており、全員加入を実施しています。なお、任意保険として「学研災付帯学生生活総合保険」もあります。

②一般社団法人津田塾大学同窓会費積立金

「津田塾大学同窓会費積立金」は50,000円（終身会費）です。初年度のみ納入し、その利子は奨学金として運用されています。

<③～⑥は、該当者のみ入学後にかかる費用となります。>

③教育職員免許状取得を希望する場合（英語英文学科、国際関係学科、数学科、情報科学科の学生のみ対象）

介護等体験費用11,000円、教育実習費11,000円（参考：2026年度）

④日本語教員養成課程修了を希望する場合（学芸学部の学生のみ対象）

日本語教員養成課程登録料3,000円、日本語教育実習費22,000円（参考：2026年度）

⑤英語英文学科の異文化コミュニケーション専攻（異文化コミュニケーションコース、Japan Studies in Englishコース）においては、国内外での学修・異文化体験を推奨します。その場合には、交通費、滞在費、保険料など、別途費用がかかりますが、すべて自己負担となります。

⑥多文化・国際協力量科に入学した場合

国内外で実施するフィールドワークの費用はすべて各自が負担します。費用は、滞在先、滞在期間によって異なります。国外でフィールドワークを行う場合には、交通費、滞在費の他、保険料も必要となります。なお、フィールドワークの場所(滞在先)については、指導教員と相談のうえ、学生の希望に沿って決めることとなります。

高等教育の修学支援新制度（多子世帯支援・理工農系支援を含む）の対応について

本学は、文部科学省より「高等教育の修学支援新制度」の対象校として認定を受けております。また、数学科並びに情報科学科は理工農系学部・学科の対象機関として登録されております。

本学においては、入学金や授業料等は納付期限までに一旦納入していただきます。減免対象者には所定の手続きを経て、入学後に減免相当額を還付いたします。

個人情報の取り扱いについて

本学では、「個人情報の保護に関する法律」に基づき、個人情報の取り扱いには十分な配慮をしております。今回、出願及び入学手続にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、入学試験実施（出願処理・試験実施）、合格発表、入学手続と、これらに付随する事項を行うためのみに利用します。なお、出願受付、受験票の発送、合格通知書の発送などの業務を個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託することがあります。

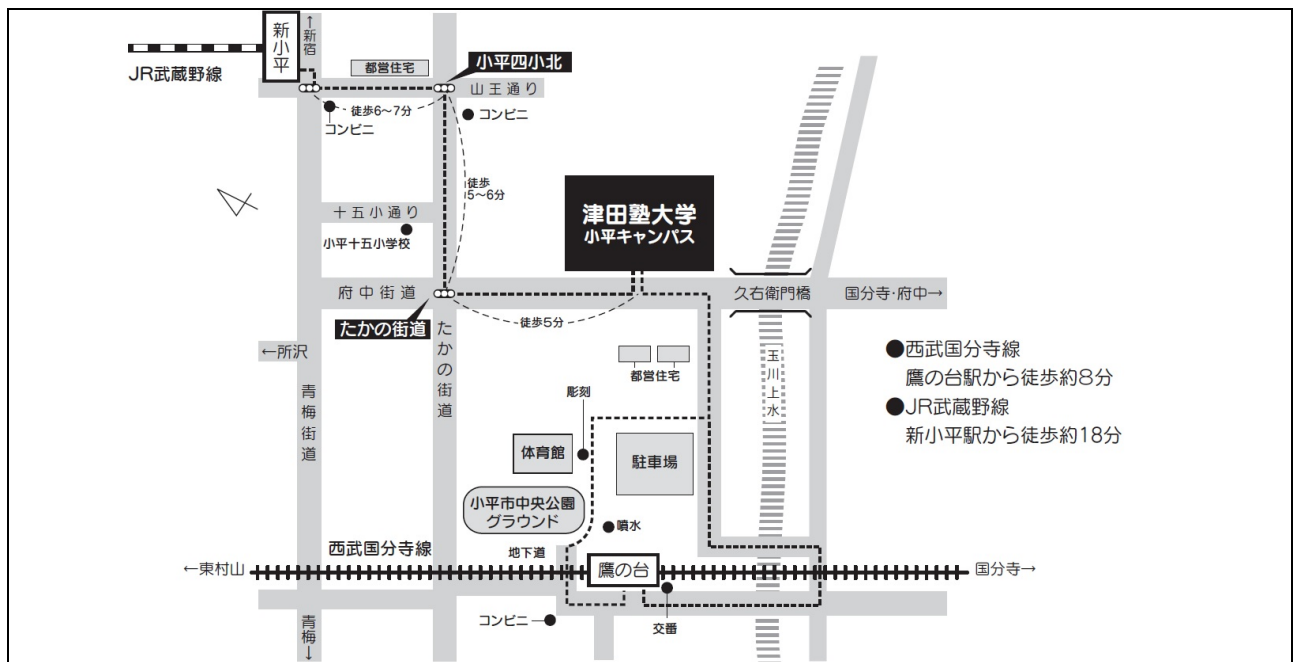
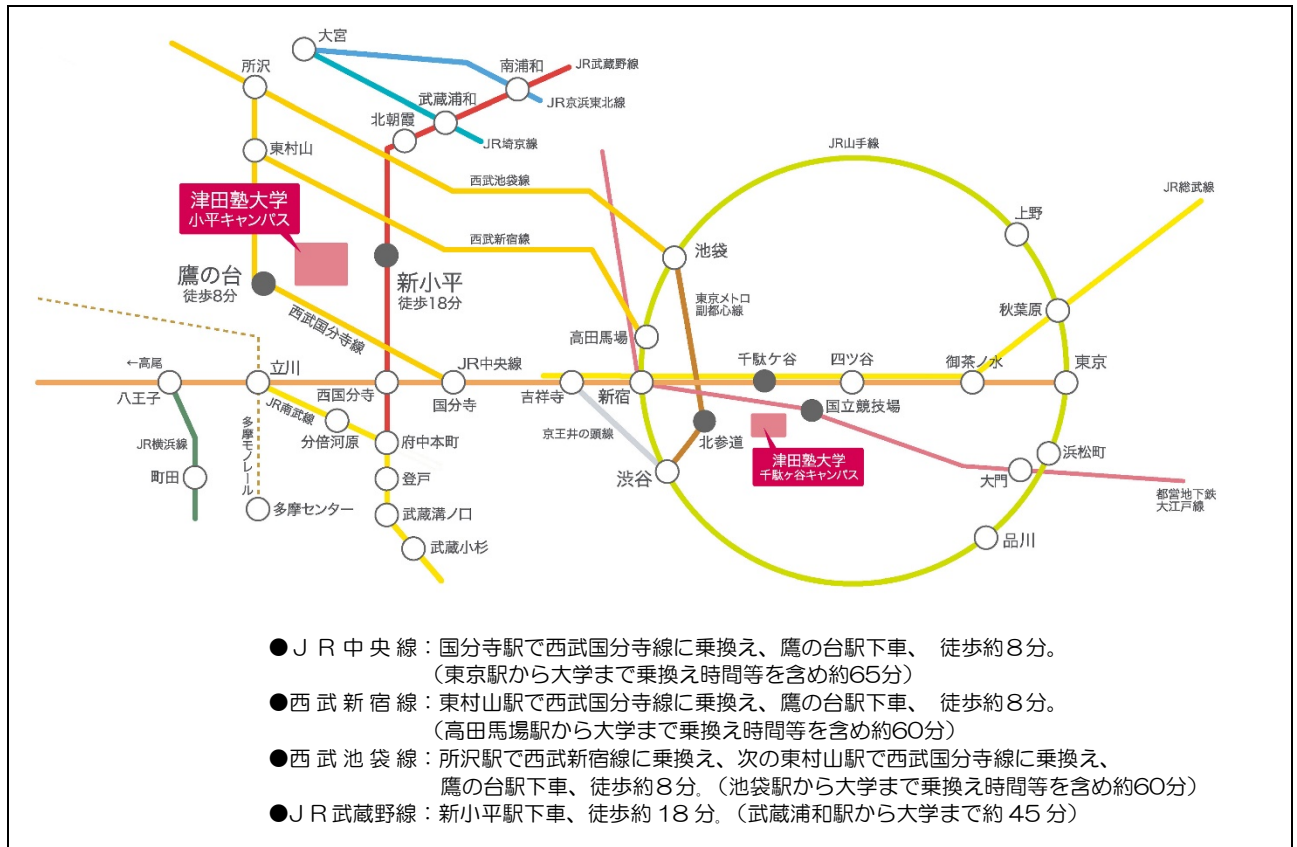
また、入学手続時にお知らせいただいた個人情報は「津田塾大学同窓会費積立金」に係る手続のため一般社団法人津田塾大学同窓会に提供させていただきます。

トランスジェンダー学生(性自認による女性)の出願について

津田塾大学では、2025年4月に入学する学生が受験する入学試験より、女子大学で学ぶことを希望するトランスジェンダー学生(性自認による女性)にすべての学部、大学院研究科にて受験資格を認めることといたしました。詳細については本学公式 Web サイトをご確認ください。

本学公式 Web サイト：https://www.tsuda.ac.jp/admissions/exam_transgender.html

小平キャンパスへの交通案内



受験時の宿泊について

- ★本学では宿泊のご案内はいたしません。
 津田塾大学生協 (TEL. 042-343-7073) または旅行会社等に直接お問合せください。
- ★宿泊地は JR 中央線沿線 (新宿～八王子) か、西武新宿線の沿線が比較的便利です。

津田塾大学 入試課

〒187-8577 東京都小平市津田町2-1-1

TEL: 042-342-5120

Email: nyushi@tsuda.ac.jp

<https://www.tsuda.ac.jp/>